

## 第19回 日本-クウェート合同シンポジウム開催について

2月3、4日の両日、クウェート科学研究所（Kuwait Institute for Scientific Research: KISR）において、KISR、KNPC（クウェート国営石油会社）、石油学会（JPI）、JCCPの4社共催で「第19日本-クウェート合同シンポジウム」を開催しました。

初日のオープニングではDr. Samira Omar KISR 総裁、高岡正人・駐クウェート日本国大使、JCCP 平岡常務理事、またJPI を代表して岡崎横浜大学 教授が挨拶を行い、120名を超えるKISR 研究者、KNPC、現地日本企業等からの出席を得て盛大なシンポジウムとなりました。

今回のテーマは、「石油精製産業の発展（Advancement in Petroleum Refining Industries）」で、触媒関連からカーボンリサイクル、腐食等まで幅広い分野に亘り24件（内、日本から5件）の講演とともに活発な質疑応答等が交わされました。

